

静岡県立沼津商業高等学校同窓会
〒411-0917 静岡県駿東郡清水町徳倉1205
TEL 055-932-5747 (FAX共用)

同窓会長に就任



水上博道 (高六回)

会員の皆様には沼商同窓会活動にご理解とご協力を頂き有り難うございます。

本年一月の総会で二期半会長を勤めていただきました大川徳雄様が三月末日付で退任し、今後は顧問としてご指導をおおぐことになりました。

昨年春の常任理事会後次期役員選考委員会が発足、委員長に四九二回卒の大嶋淑嗣様が専任され協議を重ねた結果、私が次期会長に選考され総会にて承認されました。私は歴史と伝統ある同窓会を時代の環境に適応しつつ新役員皆様の協力を得て微力ではございますが努力させていただきます。

今期の計画は、(一) 在校生に育英奨励金の贈呈 (二) 大学進学

生に阿部奨学金の貸与 (三) 会報第五号の発行 (四) 会員名簿発行の審議 (五) 沼商同窓会ならでの在校生に学んでもらいたい講師の派遣などです。

現在個人情報規制が論議されていますが、例えば六回卒業生の発案で生徒会誌「紫旆」が創刊された時当時の西脇校長のお言葉で最後に卒業生の名簿を載せ、これが連絡を密にするのに大変役立ちます。同窓生の親睦を図るためにも名簿作成を前向きに考えたいと思います。

略歴 (沼津五中より入学、在校中は書道部に在籍、会誌「紫旆」復刊第一号編集委員)

日頃のご支援に感謝



土屋尚志 学校長

同窓会の皆様、日頃は在校生に対して絶大なご支援を頂き、心よ

り厚くお礼申し上げます。私ども教職員一同は、皆様の期待に応えるべく全力で生徒の指導に当たっております。

先日、本年度の沼商同窓会育英基金の授与式が行われ、基本情報とシスアドの両方に合格した三年生男子二人と、弓道部で全国大会へ出場した三年生女子も含まれていました。男子二人は、ソフトウエアの資格取得を目指して目下勉強中です。特筆すべきは、学業面で優秀なことはもちろん、三人共運動部に属し、文武両道を実践している沼商の模範生です。

沼商同窓会の奨学生は、大きな夢を持ち、ひたむきな努力をしています。将来は必ず世のため人のために尽くす人間になると確信しております。

近年、沼商生も大学進学者が増え、採用者の多くが四大卒という大企業へも進出し始めています。

また、本部のみならず、富士、裾野、御殿場、熱海地区同窓会支部の皆様にも、特別に沼商と沼商生にご支援をいただいております。

「沼商ふじの会」では、生徒のためになる講習会を寄附して下さり、裾野、熱海では卒業生を招待しお祝いして下さいました。また野球部OB会の岩崎様からは野球部に対して特別なご支援をいただいております。最後になりますが皆様のご健康をお祈り申し上げますと共に、重ねてお礼申し上げます。

第五十四回同窓会総会のご案内 集え!

輝く沼商の仲間たち

第五十四回同窓会総会を左記の日程により開催します。一人でも多くの同窓生の出席を期待してご案内いたします。

日時 平成十九年

一月二十一日(日)

場所 ホテル沼津キャッスル

受付 十二時三十分より

総会 十三時三十分～十五時

懇親会 十五時～十七時三十分

会費 六千五百円

(但し、事前振り込みの場合)

当日払い 七千円

申込方法、新聞広告掲載希望者

など詳しいことは折込の「第五十四回同窓会案内」をご覧ください。

同窓会年会費にご協力を!

同窓会は皆さんの会費により運営されています。この大所帯を運営するには大きな経費を必要とします。その経費はひとえに同窓生皆さんからの会費で賄われます。

現状では、会費を納めていただいている会員は一割程度です。同窓会の運営が安心して出来るよう皆様のご協力をお願いします。

沼商の誉れ永遠にあれ



斉藤孝雄
(高八回)

私は昭和三十一年三月、高校八回生として卒業しました。以来五十有年、母校を愛し沼商を卒業したことを誇りに思っております。常に母校の動向に関心を持ち、節目の行事には積極的に参加して来ました。

徳倉へ移って迎えた創立七十周年では、丸子校舎で学んだ私たちには感慨に浸るよりも、一抹の淋しさを感じました。

九十周年フェスティバルでは八回生の団結力を遺憾なく発揮し、村上君をはじめ役員の尽力により三島大社より山車を借り出し揃いの法被に祭り衣装で身を包み、山車には参加者の名前入りの提灯を付け、炎天下の沼津の街を練り歩き式典に花を添えました。

平成七年には、持田・近藤両君の呼びかけで、八回生を中心にしたヨーロッパ旅行を行い、九十周年に着用した法被でロンドン・パリの街を歩き両市の市長に注目された思い出があります。また、熱海での創立百周年では、沼商の歴史と伝統の重さを痛感しました。このように記念行事には参加して

きましたが、毎年の総会には参加しておりませんでした。総会の思い出は、第一回が開催された当時丸子新聞の記者として取材した思い出があります。

昨年案内状をいただき、何気なく目を通すと、記念講演者として同期の田村幸一君の名がありました。たので出席することにしました。彼とは卒業以来、付き合いを続けてもらいましたのでよけいに参加意欲が出てきました。

五十三回を迎えた総会には「引き継ごう・受け継ごう・沼商丸子愛」のテーマがあり、当番幹事の努力で厳粛かつ盛大に行われ、伝統の重さを実感しました。ただ出席者が三百名チョットで何か物足りなさを感じました。

総会で話した人からは、沼商を愛し伝統を守り続ける熱気に溢れ久々の再会とお互いの健康を喜びあつて、有意義な一時でした。

講演では、冒頭自分の奥さんに御歳暮を送ったことから話し始め一番感謝しなければいけないのは妻だと言われ反省させられました。

また、これが彼の人生観であり、「中国ビジネスを斬る」の中で随所に現れ、上海小糸を彼の力で見事に軌道に乗せたのだと思えました。

そして、終わりにまた一言「職員室の机の並べ方、書類の置き方が旧態依然としている」と言って講演を締めくくった。

今回初めて総会に出席して「引き継ごう沼商愛」「その名を誇る沼商の誉れを永遠に」と祈った。

高校時代のアルバイト

臼井啓子(高九回)

新聞に高校生のアルバイトに関する特集が載っていた。賛否両論で終っていたが、私は沼商時代に二度アルバイトをした。学校を通してのものだが、一つは二Fの女性仲間六人で話が纏り、千本に有った食堂「千松閣」で働いた。

気の合う仲間だったので楽しかったが、お客は少なく朝の掃除が終ると昼が待ちどうしかった。

ひと泳ぎした人が店に入って来る。注文を受け厨房へ通すと時を経ず料理が小窓から出される。と上級生で一人参加していたSさんが出て来て運ぶ役をやる。私たちもお客に接したくて順番にやろうと決めた。ところが、その場面に来ると彼女が現れ「私がやったげ」と出て行く。それがまた目立たず実にタイミングがいい。十日程それは続き、全員面白く無くなった頃仕事は終わった。

卒業後五十年になるが、彼女とは会っていない。ただ甘ったれた言葉は今も耳に残り、以後下の者の気持ちを探らない上司はダメだということが私の信念となった。そして、報酬を受ける身でありながら仕事が無い辛さも味わった。

夏の太陽は沈むのが遅く、東田子浦駅から自宅までの自転車での帰宅は、それなりに満足感が有り心に残っている。浮島沼の面影が映る川には葦を運ぶ小さな和船が杭に繋がれ、その周りにさざ波が夕風に揺れていた。

もう一つは、商工会議所でのアルバイトで大売出しの手伝いだった。殆んどハズレの玉の中に赤や青の当たり玉を定められた数だけ入れ、市内に設けられた抽籤所へ運んだり、使用済みの福引券を役員のお宅へ運び焼却したりした。当時会議所は、大手町に有り古いビルの奥で住込みの小母さんが男物の大島紬を縫っていた。息子用だと言いつつ針を動かしていた。

卒業式が体育館で行われたが、私は商工会議所会頭賞を受け、アルバイト時同室に座っていた上司から賞状を受けた。言葉は交わさなかったが優しい目で渡してくれた。その時の置時計は今もある。アルバイトに関しては、受け取る報酬や知識あるいは苦しみ等よりも以後の長い人生で必ず役立つことが出てくるような気がする。

経験は何にも勝る師であり、身に降り掛かってくる災難を未然に防いでくれるものだ。

私は自らの経験を持たずに受身的な老女にはなりたくない。それには若人の少し後を歩き、耳をダンプボにし疲れた時は座して友人と語る。それが何にも優る宝である。

人生八十年代をいかに生きるか
—元気に老後を過ごすために—



石川三義
(高二十回)

一、大学の講師から福祉の仕事に入って

私は、大学院博士課程を修了後東京の私立大学の講師を数年務めた後に、父親が始めた社会福祉施設(特別養護老人ホーム)の仕事を手伝うことになりました。以来二十五年以上にわたり高齢者介護の現場で働いてきましたが、福祉の仕事は奥が深く、「これでよい」ということが有りませんし、人間愛の精神で活躍をして、更に奉仕の精神を持つてはじめて福祉という困難な仕事が達成されます。

さて、私が勤務している社会福祉法人「春風会」は、昭和五十一年八月に設立され、県東部に四つの特別養護老人ホームをはじめ、障害者通所施設・授産施設・救護施設などを経営しております。

私たち春風会は、高齢者・障害者の人権の擁護、人格の尊重を第一に考え、利用者本位のサービスの実現、福祉施設を拠点とした地域福祉の推進、青少年の福祉教育の推進などに努めています。今回は、高齢者介護について述べます。

二、高齢者介護の現場から

認知症(ボケ)について

我が国の平均寿命は、男性は七十八歳、女性は八十六歳で、女性は世界一の長寿国となっております。現在は、多くの国民が八十歳まで長生きでき、人類が求めてきた長寿社会といえます。

しかし、それに伴い認知症(ボケ)の高齢者も急増しております。今日のサラリーマン社会では、定年退職後の生き方が極めて大切であり、老後をいかに認知症にならず、また脳血管障害から寝たきりにならずに生きがいをもって生活できるかが課題であります。

認知症の要因とその予防について簡単に述べておきます。認知症の要因には、脳器質変化の一次的要因と、社会・環境的の二次的の要因があります。後者の要因としては「配偶者や子供を亡くしたとき、その喪失感や失望感からくるボケ」「定年退職後に何もすることがなく、生きがいの喪失や無気力からくるボケ」「長年住み慣れた家を離れ、息子や娘の家に移ってからくるボケ」などがあります。

認知症は、人間にとって止むを得ないものであるとか、治療できないもの・予防できないのだといつて放置するのではなく、認知症の初期兆候を発見して早期に対応することが必要です。認知症の初期の兆候として、物への関心・好

奇心を失う、無感動・無表情になる。物の置き忘れ・しまい忘れ、火の不始末、同じことを何回も聞く、時間的感覚を失う、被害妄想の訴えをするなどがあります。

三、老後を元気に過ごすために

認知症の予防

日頃から認知症の予防のために次のことを実践するとよいと思います。

- ① 散歩や運動をする。(散歩一日五千歩以上) テニス・水泳等は脳の活性化を促しボケ予防となる。
- ② 頭を使う。脳は年をとっても使えば使うほど達者になる。本や新聞を毎日欠かさず読む。日記をつける。その他囲碁・将棋・オセロ等仲間と楽しむ。
- ③ 身だしなみを整える。人はいくつになっても身だしなみを整えて、お洒落や色気を忘れないことが最大のボケ予防となる。
- ④ 生きがいを持つ。人間はいくつになっても役割を持ち続けることが大切。年寄りから仕事を取らず、何らかの役割分担を与えておくことが必要で、毎日一定の仕事をする。(畑仕事・庭の手入れ・掃除等)
- ⑤ 友達を持ち、ライフ・ワークや興味を持ち続ける。定年退職をしてからでは身につかない。四十歳代、五十歳代から自分なりの趣味や生きがいをもち、くよくよせず毎日を前向きに楽しく感謝の心を持って生活しましょう。

この人も同窓生

東海庵青龍

長島暢泰さんは沼商十二回卒業、百年余に亘る茶道、東海流三代目家元、「東海庵青龍」の雅号で今日も元気に活躍中です。

写真の三島大社献茶式は、昭和四年、初代家元が昭和天皇即位大礼を祝って茶道具一式を奉納したことに始まり、毎年四月一日が恒例行事となり、本年度七十九周年になります。(写真は昨年の献茶式) また、御用邸の月釜や、芸術祭等文化活動にも尽力され、沼商百年総会の時には、熱海富士屋ホテルで茶席を設け、参加された同窓生を和ませてくれました。



普段の顔は、全国の酒蔵を訪ね味に納得して直送。日本の代表的銘酒「越乃寒梅」「久保田」、話題の芋焼酎「森伊蔵」「伊佐美」など全国の銘酒を、プレミアムを加えず、定価を守って販売する日本では珍しい酒屋、長島酒店の経営者でもあります。

総会の準備に係わって



村竹愛子

(高三十回)

年々生活の中で体力や頭の回転で、「こんなはずではなかった」と自信を失いがちなころ、「今度の同窓会総会のサブ幹事なので、同級生に声を掛け手を貸してほしい」という電話を受けました。

卒業して三十年、その後も付き合い合っている人はわずかで、やむなくアルバムを出して昔にフラッシュバックしながら勇気を出して数十名に連絡してみました。

連絡をした人はわずかですが、そこから枝葉が出て、たくさんの懐かしい顔に会えるのだと内心とても楽しみでしたが、すぐそれは甘い考えだと分かりました。最初から迷惑そうな声、一人目から断わられ、「何故」と寂しく感じました。気持ち良く受けてくれたのはたったの一人でした。十数年後にはメインの幹事が回ってくるのを聞かされて、余計に落ち込んでしまいました。

メインの幹事の方々は、一回り以上も上の先輩たちで、相当前から準備されたようで打ち合わせに出るとしつかりした土台が出来ていて、一つずつ確実に全員が無事に終らせようとする団結した姿勢

が見え、本当に素晴らしく、羨ましく思いました。

総会当日は、「引き継ぐ・受け継ぐ・沼商丸子愛」の基に卒業生の方々、恩師の方々そして卒業生が集い、活動報告等で同窓会の役割や流れが多少ですが分かりました。そして何よりも懐かしい人たちと会え、諸先輩方からの話も聞けて楽しく過ごせました。

ほんの少しのお手伝いでしたが学ぶことも多く、初めての出席でしたが驚きや感心することばかりでした。

これまで家庭に入って平穩無事な毎日でしたが、一つの役割を果たすことが小さなことでも、自分を成長させるチャンスになり向上出来ることなのだと分かり、昨日より今日の自分に自信がもてるようになるのだと思えました。

同窓会の活動も先のことは分かりませんがメインの幹事が回ってきたら、大勢の同級生の中の一人として応援したいと思えます。

沼商美術部OB展の紹介

実行委員長 杉山英雄

(高七回)

平成十七年と十八年、沼商美術部OB展がマルサン書店三階画廊と、静銀八階ギャラリー「四季」で行われました。きっかけは高七回卒の人たちが中心になり、平成

十五年に他の高校美術OB展を見て私たちもやろうと決めたのです。さつそく出品者を募ることにしました。手紙に発案理由、参加・不参加と返信はがきを入れて送りましたが、結果は不参加が多数で難しさを痛感しました。理由を聞いてみると、「現在やっていない」「病氣療養中」、また送ったはがきが来ない等で、計画の甘さを反省し、次に口込みで出発しました。



第2回沼商美術部OB展風景

まず第一に、沼津美術協会の会員で沼商卒業者を捜し展覧会参加を説得しました。次にサッカー部顧問であった中野忠先生に頼みました。苦難の末、十六年度中にOB展の案内はがきが出来、十七年正月より報道関係と卒業生に配りました。やがて五月五日の搬入の日になると、出品者が手に作品を持って集まってきました。

作品の配置は、入り口より高い年齢者から並べるようにし、絵を

吊るし作品札を付け、スムーズに出来ました。

作品の種目は、油絵・水彩画・版画・切り絵・彫刻・鉛筆画とバラエティに富んでいます。作品の質が高いので、大変豪華な展覧会となりました。

お客さんは、やはり沼商OBの人が多かったようでした。来場者は一日百名以上に達し、大成功でした。五月十五日の最終日沼津軒で懇談会を開きました。会場では、初めて会った人たちがまるで昔からの友達であったかのように和やかに語り合い、自己紹介や沼商在学中のクラブ活動や体育大会の思い出など、時間の過ぎるのを惜しむように熱気に溢れました。

今回は、第一回目のOB展のことを中心に紹介しましたが、第二回展もほぼ同様でしたので省略しました。ただ第二回の展覧会は会場が広くなり、第一回展の時と同じように作品集めに苦労しました。

第三回展は、十九年の五月、静銀ギャラリー「四季」で実施されます。新たな出品者を歓迎します。

この展覧会は、優秀な作品を出品するものではなく、人間味があつて味わいのある作品を募集しています。来年の展覧会まで時間は充分ありますので、今から準備をされて出品されますことをお持ちしています。

事務局・電話

〇五五―九三一―五三九七

支部だより

◆熱海支部◆ 若さで頑張ります

山口 最
(高五十七回)

私は沼商を卒業してまだ一年半たらずです。地元これほど多くの偉大な先輩方がおられることを知りませんでした。そのような先輩方と現在交流させていただけるのは、沼商熱海支部があるからだと思います。

先輩方から以前の沼商の様子を伺うと、現在と大きく違うようです。まず、女子生徒が今は圧倒的に多いのに昔は逆であったそうです。勉強内容もかなり違っているようで、時代の流れのためだと思います。先輩方との交流がなければ昔と今を比較することはできなかったと思います。

私にとって沼商熱海支部の交流は、とても頼もしく楽しいものです。これからも先輩方との交流を大切に、先輩方からのアドバイスをいただきながら頑張ります。

◆御殿場支部◆ 総会出席者の拡大

嶋田 泉太郎
(高十二回)

平成十八年度に入り、役員会が

六月八日に開かれ、年一回の総会も九月九日に開催すると決まりました。総数約三〇〇名の支部ではありますが、実質は一〇〇名の返事しか得られないのが現状です。そのうち五十名の出席を願い活動しております。

私は、本年六十五歳となり老人の仲間入りをしました。「沼商」と聞くだけで、我が青春の時を体全体で感じます。沼商時代に学んだ基礎知識は現在でも生きており私の考えの中心でもあります。

御殿場線で通った三年間で、自然と先輩・後輩の序列を学び、運動部「体操部」では厳しく鍛えられ、今思えば私のDNAも沼商時代に培われたに違いありません。

今年も沼商同窓会御殿場支部総会が盛大に開催できることを願います。今から楽しみにして準備に力を入れています。

◆裾野支部◆ 小学校に藤棚を寄贈

中川 精二
(高四回)

沼津商業高等学校同窓会員の皆様には益々ご健勝にて、それぞれの社会職域での活躍にご精進されご活躍のことと思います。

裾野支部同窓会も設立して三年を経過致しました。七月二日には教頭先生をはじめ、同窓会長をお招きして総会を開催し盛会の中に終了することが出来ました。

本年度は、幾つかの事業を実施しました。特に裾野市立南小学校が開校されるに当たり、地域の会員より藤棚の寄贈の要請があり、五月二十五日、南小の生徒と一緒に植樹し、完成することが出来ました。

私たちは、これからも地域や母校に対し物心両面で協力していくつもりです。市内在住の同窓会は八百有余人おりますので、同窓会の輪を広げ、男性はもちろん女性会員の参加を増やすよう組織の充実を計って行きます。

◆富士支部(沼商ふじの会)◆ 平成十八年の活動内容

事務局長 木村敏志
(高十二回)

平成十八年度の沼商ふじの会は昨年同様四つの行事を揚げました。

第一は、ゴルフ大会で、第三回目を四月二十三日に行い、参加者十六名で楽しくプレーしました。当日は豪華な賞品が全員に渡りました。第四回は、十月二十日に計画しています。

第二の行事は、四月二十九日「富士山麓ブナ林創造事業」への参加です。今回は、初めて苗木代五万円を寄付し、四十二名参加しました。来年度の苗木代として総会時寄付を仰ぎ五万円集まりました。第三は、定期総会で六月二十五日に開催し、本部より水上会長・藤本副会長、学校からは土屋校長

杉山教頭に出席していただきました。また市からは鈴木市長も出席していただきました。

定例となっている講演会は、三味線奏者の重信 優氏を招き、「旅と三味線」と題して楽しく演奏を聴き参加者の称賛を得ました。

第四は、十月二日に開催する文化事業で今年も「立川文志とその仲間たち」を公演します。

昨年の収益金から、市内の小中学校を中心に両足義足のマラソンランナーの島袋 勉さんの講演会を実施する予定です。

◆定時制部会◆ 今年も頑張ります

室井 清
(高八回)

桜花も過ぎた四月、平成十八年度、沼商定時制部会第二回総会が開催され、私が部会長となりました。早いもので、十代で秋田市から就職のため沼津市に来て五十五年になりました。

これといって大きな目標はありませんが、役員一同定時制同窓会のために頑張るつもりです。

定時制の生徒は毎日仕事と勉強の二足のわらじです。どうか健康に気をつけて頑張ってください。

言葉では簡単ですが実際は大変なこと、苦労が多いと思います。どうか初期の志を貫き、栄光を勝ち取って下さい。同窓生各位の継続支援をお願い致します。

母校この一年

◆学校の現状(四月一日現在)

■在校生

全日制……………一年(二〇五名) 二年(二〇二名) 三年(一八二名) 計五八九名(男一八一名)(女四〇八名)

定時制……………一年(二十四名) 二年(十四名) 三年(十一名) 四年(十五名) 計六四名

■教職員・事務

全日制……………校長、教頭(三) 教諭(三十六) 養教(一) 自習助手(三) 講師(九) ALT(一) 事務(八) 計六二名
定時制……………教頭(一) 教諭(七) 事務(一) 講師(三) 計十二名

◆主な行事(十七・八・十八・七)

■全日制

- 八月 インタナショナルシップ(二年)
- 十月 合唱コンクール
授業公開
保育体験実習(一年)
- 十一月 芸術鑑賞・球技大会
修学旅行(二年)
- 十二月 韓国・北海道二コース
ヌマショップ「沼商屋」
マラソン大会(千本浜)
- 四月 宿泊研修(一年・御殿場)
- 五月 紫旆祭(文化祭・体育祭)

■定時制

- 九月 東部生活体験発表
- 十月 安全学習(DIG講習)
- 一月 東部定時制合同文化祭
- 五月 民間講師講座・紫旆祭
- 六月 振興会総会

「沼商屋」大いに賑わう



H17.12 ヌマショップ沼商屋(パレット1F)

販売実習として行っているヌマショップ「沼商屋」は多くの市民から歓迎されている。
十七年度は十二月二十三日より三日間沼津駅前のパレット一階で行われた。開店当初はお客が来なくて心配したが、実習生の大声での呼び込みで、人気が増え、初日より二日目、更に最終日と尻上がりに多くなり大いに賑わった。

今回の実習で勉強になったことは、売れると思っていた商品が売れず、売れないと思った商品が売れたり、販売の難しさを痛感した。こうした経験から、初日の様子を見て二・三日の仕入れを調整していった。

和菓子などは完売し、お客に喜んでもらえる品揃えをすることが販売では一番大切なことだと判った。今回の体験を今年十二月の沼商屋では生かしていきたい。

校内マラソン大会行う

体育授業の一環として行われた校内マラソン大会が、本年二月二日千本浜防波堤コースで一・二年生全員参加により行われた。男子十キロ・女子六キロの距離を全員元気に完走した。



千本浜を完走する生徒

宿泊研修(一年生)

四月二十七日、二十八日、一泊二日で御殿場の青年の家で一年生による宿泊研修が行われた。当日は、校長の講話・マナー教室・校歌の練習・レクレーション・バーベキューと盛りだくさんで沼商生としての基本を身に付けた。

第六回明石海人賞短歌コンクール

平成十三年に明石海人歌碑建立を記念して行われている。明石海人が愛し続けた駿河湾や千本浜に

ちなんで、「海」を課題として一人三首の短歌を募集した。審査の結果、次のものが最優秀となった。最優秀賞 木下綾乃

悩み事全てを叫んで快晴なり
真夏の海も私の心も

紫旆祭盛大に開く

今年の紫旆祭は、全日制・定時制を含めて次のような日程で盛大に開催された。

- 五月二十五日 体育の部
- 二十六日 文化部校内発表
- 二十七日 文化の部一般公開



紫旆祭案内

全日制生徒会長 稲葉夏海

沼商最大のイベントである紫旆祭がやってきました。

今年は「交流」を主なテーマとし、模擬店等も利益だけを目的とせず、お客様の声も聞けるようにしました。日頃の成果が十分発揮できるように盛り上げました。

定時制生徒会長 芝田 歩

全日制の生徒会の皆さんを中心に、全校生徒の皆さんが膨大な時間を割いて企画・運営した文化祭に私たちも参加させていただきました。日頃の授業や行事という短い時間の中で製作したのですが全力で頑張りました。

活躍する在校生

◆ 全国大会出場 ◆

● 弓道部

全国選抜大会

勝又利和子さん

「自分だけの世界を作る」ことに集中していました。

周りがどんな弓を引いて当たろうが何をしようが関係ない。自分は大きく胸を張ってやればいい。あとは体に任せるんだ。と言いついで精一杯頑張りました。

● 電算部

マイクrosoft・オフィス・スペシャリスト 全国七位

内山翔平君

十日間という短い時間の中、三日でテキストを読破し、残り一週間で模擬試験を必死でやり抜きました。

次は、初級シスアドの取得とIT簿記選権で優勝することを目指して頑張ります。

全国高等学校IT簿記選権大会

葛本晃敏君
立林洋俊君

● ワープ部

全国高等学校ワープ競技大会

杉崎鉄馬君

キーボードを見ずに正確に打てるようにキーの配列を覚えました。実技では、いかに早く指を動か

せるかということですが、今でも十分間で二〇〇〇文字は打てますが、もつと上の人が多くいるので目標を高くして、二七〇〇以上を打てるよう努力します。

● 簿記部

全国高等学校IT簿記選権

杉山百佳さん

■ 定時制

全国高等学校定時制大会

・陸上競技 石井将司君

・ソフトテニス 小野菜摘さん
川瀬あずささん

◆ 東海大会出場 ◆

● 珠算部

東海地区商業科実務競技大会

計算事務 団体

● 電算部

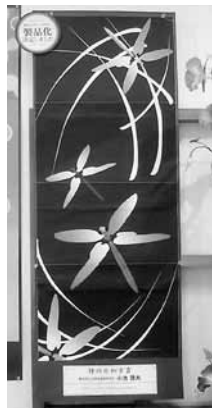
東海地区商業科実務競技大会

情報処理 団体

◆ その他 ◆

● 高校生ゆかた柄コンクール

県知事賞 小池啓太君



ゆかた柄

浴衣柄と聞いて頭に浮かんだイメージをそのままパソコンで表現しました。先生の指導のもと良い作品が出来上がりました。これからもこの経験を生かして行きます。

● 基本情報技術者初級システムアドミニストレータ国家資格合格

葛本晃敏君

久土貴裕君

合格を信じてテレビも見ず勉強しました。朝早く登校して一人で勉強したり、一秒も無駄にしないという気持ちで取り組みました。次の目標は国家三冠になることです。将来は起業をしたいので勉強を続けます。(久土)

部活紹介

現在沼商には、体育系一三・文化系一四のクラブが有り、全生徒加入で活動しています。

◆ 体育系

陸上競技部

柔道部

弓道部

サッカー部

野球部

バレー部

バスケット部(男・女)

ソフトテニス部

バドミントン部

卓球部

ホッケー部

ソフトボール部

剣道同好会

◆ 文化系

科学部

郷土研究部

書道部

商業美術部

福祉は思いやりの心

県定時制生徒生活体験発表会

振興会長賞 横田夏希さん

老け込んでいく祖母に得意であった編み物(マフラー)を頼み、その事をきっかけに祖母が若返った体験を述べます。

「福祉」という仕事は介護をするだけではないのだと思いました。コミュニケーションの中で、その人らしく生活するための手助けをする仕事だと思いました。

そうした行いが本当の笑顔を見せてもらえることを実感しました。年を重ねていくと身体も思う通りに動かなくなり、塞ぎこんでしまうのかも知れません。しかし一緒に楽しみを見つけたりする中で、その人らしさを引き出せるような介護福祉士になりたいです。

私の今の気持ちは、祖母のような笑顔は何回も見たいというのが願いであり私の新しい目標です。その目標を実現するために、四月から専門学校へ通います。大変でも目標に向かって頑張ります。

事務局から
第五十三回同窓会総会を開催
会計報告・新役員など承認

「引き継ぎよう・受け継ぎよう・沼商
丸子愛」を掲げて、第五十三回
総会が初春の一月十五日ホテル沼
津キャッスルで開催された。会員
三一九名の参加があり、平成十七
年(十七年一月一日〜十二月三十
一日)の会計・事業などの報告が
された。

又本年は役員改選の年に当たり
会長に高六回卒の水上博道氏が選
出され承認された。その後懇親会
に移り来賓・恩師を交えて、賑や
かに親睦の輪が広がった。

常任幹事会の開催

本年五月十九日第一回常任幹事
会が開かれ、平成十七年度(十七
年四月一日〜十八年三月三十一日)
の決算・事業などの報告がされた。
続いて水上新会長より本部役員の
指名、そして紹介があり、それぞ
れ満場一致で承認された。

十八・十九年度同窓会新役員

名誉顧問

- 小池政太郎 (旧二十九回)
渡辺 新作 (旧四十二回)
顧問
山本 忠 (旧三十三回)
大川 徳雄 (四九二回)
土屋 尚志 (学校長)

相談役

- 金刺 実雄 (高五回)
宮地 慎之 (高定七回)
持田正与司 (高八回)
小池 忠雄 (高定八回)
城所 延芳 (高十五回)
野崎 英二 (学校教頭)
杉山由美子 (学校教頭)
村上 馨 (学校教頭)
望月 佳子 (事務長)

会長

- 水上 博道 (高六回)

副会長

- 杉本 守 (高六回)
藤本 泰三 (高八回)
廣瀬 忠男 (高定九回)
小林昭太郎 (高定十一回)
坂倉 安藤 (高十二回)

会計監査

- 鳥居 清 (高十三回)
宇佐美文男 (高十五回)

総務

- 諏訪部善枝 (高十五回)
岩崎 正幸 (高十六回)
太田きく江 (高十六回)
加藤 敏子 (高十八回)

会報

- 田村 幸一 (高八回)

総会代表幹事

- 朝木 和彦 (高十七回)

事務局

- 笹村美紀子 (高二十三回)

同窓会育英基金

後輩の支援と母校の振興を目指

して多くの会員の寄付金を基に運
営されている育英基金は今年も十
二名の生徒に授業料相当額を支給
した。

阿部英雄奨学金
(沼津商業振興育英基金)

阿部先輩(旧三十九回)の寄付
により運営されている当基金の奨
学金は、十七年度進学者六名に貸
与した。

同窓会入会式

本年二月二十八日十七年度卒業
生二七名(全日制二〇五名定時
制十二名)の同窓会への入会式が
行われ、新会員となった。

平成17年度 沼商同窓会育英基金会計決算報告書

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Includes items like 前期繰越金, 育英基金, 受取利息.

平成17年度 沼商振興育英基金会計決算報告書

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Includes items like 前期繰越金, 第6回奨学金, 奨学生より返済.

平成17年度 沼商高育英基金会計決算報告書

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Includes items like 育英基金, 受取利息, 奨学金, 奨修費.

平成17年度 沼商同窓会基金会計決算報告書

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Includes items like 前期繰越金, 育英基金, 受取利息.

平成17年度 沼商同窓会経常費会計決算報告書

Table with 2 columns: 収入の部, 支出の部. Includes items like 前期繰越金, 会報発行費, 支払手数料.

編集後記

沼商同窓会 会報委員会
委員長 田村幸一(高八回)

沼商同窓会会報「丸子の杜」第
五号を皆さんにお届けします。今
号発刊に対し、同窓生の皆さん、
土屋校長はじめ関係する学校の先
生方お忙しい中ご協力を頂き厚く
お礼申し上げます。特に同窓生の
皆さんには突然のお願いにも係わ
らず快くお引き受け下さり有り難
うございました。会報をご覧にな
って母校愛が増したと思います。
○皆さんの声をお聞かせ下さい
会報は同窓会員皆さんのもので
す。気づいたこと・ご自身の意見
支部活動・クラブOB会の近況報
告・同期会他内容は問いませんの
で自由に投稿して下さい。
長さは原稿用紙二枚程度で写真
を必ず同封下さい。宛先は事務局
です。第六号への原稿締切りは平
成十九年六月三十日です。多数の
場合は次号になる場合があります。
○住所変更・訃報について
名簿等整理のため、事務局まで
電話・FAXでご一報下さい。
〒四一〇九九一七
静岡県駿東郡清水町徳倉一二〇五
沼商同窓会事務局 笹村美紀子
電話・FAX(兼用)
○五五―九三二―五七四七
受付時間(月〜金・祭日を除く)
午前十一時〜午後三時まで